事業見直し（案）の住民説明会の質疑について

**ふるさと納税推進事業**

　町の案　　納税額が増えるように返礼品に対する考え方を見直す（例えば、物品に限らず何かを利用していただく権利、又は、イベント等に参加する権利）

　問　ふるさと納税の寄付金額は？

　　答え　約一千万円です。

問　他の県の町では一億円以上の寄付を集めている、江府町ももっと寄付を集めるようにしたらどうか？

　　答え　返礼品ばかりでなくＰＲも考えていきます。

**スポーツ少年団・スポーツクラブ育成事業**

　町の案　　青少年の健全な育成のため施設利用の減免を全額減免する。

　問　スポーツ少年団・スポーツクラブの青少年の健全育成のため減免することは良い事なのでお願いをしたい。

**国内交流事業**

　町の案　　西ノ島町、関西交流、魚崎町などがあるが、関西交流・魚崎町は廃止か事業の見直しを検討する。

　問　西ノ島町は小学校が交流しているが、負担を軽減する考えはないか？

　　答え　宿泊費の半分は補助している。

**奥大山スキー場事業**

　町の案　　指定管理がなければ、売却や廃止も含めて検討すべき。

　問　江府町にとってスキー場がある、自然環境とか木谷沢とかは資源だと思う。赤字が千七百万円出ていると思いますが、働いている方というのは春から秋は地域で作業されている、それらをトータルで見てお金が動いている判断されているのか？

　　答え　自然環境の良いところにある。可能であれば残したい。働いている方も高齢化し、町内の方で集まらない。指定管理募集も２回おこなった。売却や廃止以外も方法が無いか考えている。基本は住民の方が残したいと気持ちがあること、利用されているかもぜひ残して欲しいと声があることが前提である。住民の方が「町はエライな、みたいな話になってくると」非常に無責任な話と言うか他人事になってしまう。自分達のものとして何とかしたいとの思いが集まって、問題を解決したい。

　問　働いている人も高齢化している話があったが、この地域の農業でも同じ問題を抱えているだから、廃止とか、やるという事ではなく努力するということを町の方が方向性をはっきり出さないと、皆どういう努力をしたらいいのか解りにくいのでは？

　　答え　方向性を出す前にそう言った声がどれくらいあるのか知りたかった。他人事のようにやると町の方も方針を出しにくい。町の方では他の医療とか福祉にもお金を使わなければならない。バランスを考えて施策を考えていかなければならない、残すという声が上がってくるのが存続の前提と考えている。

　問　あの環境は江府町にとってなくてはならないというようなもう一歩踏み込んだものを出さないと、赤字になっているという事だけでは、皆どうしたらいいのか分からないのではないのか？もう少し丁寧に状態を説明していただいて、自分のことだとお考えくださいと町長自ら言われて、皆さんのやる気を引き出していってほしと思います。

　　答え　おしゃるとおりと思います。マスコミの方も反応していただいて、広く伝わり何とかしなければと気持ちの方が増えてきたんではないかと思います。

　問　新聞に兵庫県に新規に十何年振りにスキー場がオープンするとあったがかたや奥大山スキー場は色々なことがあって廃止を視野に検討しないといけないう事ですが、兵庫県は年間五～六万人くらいのスキー客を見込んでいるという内容だったと思います。そこは町が直接運営するわけでなくて、運営会社するみたいなんですが、新規で立ち上げてくるというところがあるということは、運営して収益を見込んでいるからこそでてくるわけであって、そういうところを色々参考にして奥大山スキー場の在り方を考えていただきたいと思う

　　答え　ご意見については参考にさせて頂きます。江府町に特異性があるとすればエバーランドと言うビール工場を兼ねた施設を造っています。宿泊もできない施設でビール工場も閉鎖をしています。そこ維持管理費がかかるネックだと思いますし、足かせになっていると分析しています。

　問　以前は甘酒茶屋で結婚式や宿泊もでき施設だった思いますが、それが今の形態になっているということは収支面も含めて今の形態になっているか？

　　答え　スキー場以外のシーズンも人があふれています、通年事業も頭に描いていかなければ採算はあわない。あの施設をどうすうかがポイントだと思いますが、プロの方の含めて考えないと何とも言えないと思います。

　問　町長の思いに賛成なんですけど、スキー場を冬だけでなく年間を通じた利用を視野に入れて考えていけたらと思います。私の思いはスキー場は残して欲しいという思いです。例えばボーダーだけにしてしまうとか？

　　答え　参考にさせて頂きます。

　問　スキー場を維持していくのには経費が掛かる。私は、スキー場は思い切って廃止するべきだと思う。江府町は負債があるのに更に赤字になるようなことを続けることはやめた方がいい。事業の見直しは大切だと思う。こういうことを言うのは勇気がいるが、私はやめた方がいいと思う。リフトの更新に更に二億円位かかる、更に新しい投資をしなければならない。事業の見直しはいいことだと思う。

　　答え　こういう考え方もあるというのは承知しておきます。

　問　私は続行された方がいいと思う。やり方は色々検討すればいい話も来ると思います。私はスキー場に勤務した経験もありますが、春から秋までは経営ができません。冬のシーズンにリフトを利用していただくのと、レストランで黒字をカバーした経験がございます。大山で冬の国体があったので、そのころからスキー客が減っていくのではと予想していました。今もその傾向がは続いていると思うが、やり方によってはスキーリフトが一番の収入面で多いと思います。雪さえあればリフトは相当儲かると私の経験で見ていると、廃止するのはもったいないと思う。

　　答え　大山リゾートさんもリフトを３基減らされるというお話も聞いています。それだけにとらわれない方法も考えたいと思います

**インターシップ事業**

　町の案　　広島修道大学のインターシップは学生の世話をするだけで、フィードバックも効果的でない。廃止を含めて見直しをする。

　問　江尾十七夜の時に修道大学の学生さんに櫓の組み立てとかを手伝ってもらっていが、具体的にもう少し説明してもらいたい？

　　答え　十七夜は大学のインターシップと別に、ゼミの夏休みの活動としてボランティアをして頂いている。廃止を含めて見直しをするのは、大学から二名来られているインターシップです。

　問　町にとっては重要な事ではないだろうか。学生に対する付き合いはすぐにかえってくるものではないと思う、結婚して子供ができたりしてスキー場に来たりする関係になっていくのではないだろうか。役場の方からこういうものが返してほしいと話し合って来てもらうべきではないだろうか、長い目で見るのも必要ではないだろうか？

　　答え　来られる学生さんは、民泊をさせて頂いております。民泊を受けていただく方も少なくなりました。ここら辺で見直しを考えてみたらどうだろうかと思います。

問　受け入れの方が少ないなら、空き家を活用したらどうか、外から見たらこうふ町えびが、えふ町えおと読める、彼らがスキーに来なくとも、役場に勤めなくても、少なくともこうふ町えびと言っているはずだ、そう言うような宣伝をしてもらっているだけでもいいと思う。やめる前にもう少し努力をしてどうか、たぶん努力はやっておられるのに、こんなこと言って申し訳ないですが、なにか方法が無いでしょうか？

　　答え　小さな役場ですのであまり間口を広げすぎると、とてもこなせないことも出てきます。早稲田のアイタイさんの学生さんでも卒業した後も繋がっていて広がっている状況も生まれています。限られた組織、人材ですのでうまく回っているところに重点をおきたい。

**納税組合徴収事業**

　町の案　　近年、払えない人は組合を脱退するため、そのため実効的な未納対策になっていないので、廃止を含めた見直しを検討する。

　問　納税組合の方なんですが、最近は口座振替の方が増えてほとんど集金が少なくなった。昔は百万円単位の集金で納税組合をしたくない人もあった。廃止した場合、町が直接集金をされるのか？

　　答え　役場の方で収納したい。

　問　役場の事務は大丈夫か？

　　答え　現在も未納の方は役場が直接行っています。また、出来るだけ口座振替を推進したい。

**結婚祝い金事業**

　町の案　　結婚を機にどちらか一人が町外から転入された方に五年間、町にお住まいに成れば五万円祝い金をお支払するが、平成二七年度は五件、平成二八年度は〇件、平成二九年度も現在〇件であり、廃止を含めた見直しを検討する。

　問　　一組五万円が支給されるみたいだが、二五万円減になるとあるがこれは？

　　答え　年間五組を想定した予算なので二五万円になっています。